



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 英伸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 伸 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,574	7.5	△194	—	△144	—	△318	—
2022年3月期第3四半期	3,326	13.9	△144	—	△67	—	△120	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △309百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △190百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△214.68	—
2022年3月期第3四半期	△81.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	22,919	9,724	42.4	6,538.81
2022年3月期	23,703	10,033	42.3	6,746.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 9,713百万円 2022年3月期 10,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	10.3	△400	—	△360	—	△460	—	△309.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,500,000株	2022年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	14,557株	2022年3月期	14,414株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,485,517株	2022年3月期3Q	1,485,648株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報.....	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和される中、深谷市において大型商業施設が10月に開業するなど、地域活性化の動きもありましたが、感染症の波動的な拡大や更なる諸物価の上昇など、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は3,574百万円（前年同期比7.5%増）、営業損失は194百万円（前年同期は144百万円の営業損失）、経常損失は144百万円（前年同期は67百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は繰延税金資産の取崩し等により318百万円（前年同期は120百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

鉄道事業におきましては、引き続き、従業員のマスク着用、車内換気、列車・駅設備の消毒など、感染症拡大防止策を徹底いたしました。

旅客部門では、大型商業施設開業に合わせ10月にダイヤ改正を実施し、利便性向上を図りました。11月には、創立123周年を迎え、記念イベントの開催や記念乗車券類の発売など、積極的な旅客誘致に努めました。これらにより、旅客の人員及び収入は前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門では、輸送量が減少したことにより、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、電力単価高騰により電力費が大幅に増加したことに加え、設備投資に伴う減価償却費などにより、前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

この結果、営業収益は2,367百万円（前年同期比4.4%増）、営業損失は233百万円（前年同期は119百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、熊谷駅南口駐車場の稼働率が向上するなど、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。

一方、営業費用は、賃貸物件の緊急修繕実施などにより増加いたしました。

この結果、営業収益は265百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は120百万円（同7.1%減）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、行動制限の緩和やいわゆる県民割などにより、個人利用が増加したほか、団体利用にも一部回復が見られました。

一方、営業費用は、人件費のほか光熱費などの諸経費が増加いたしました。

この結果、営業収益は315百万円（前年同期比8.3%増）、営業損失は13百万円（前年同期は13百万円の営業損失）となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、学校団体など一部の貸切バス需要に回復が見られたほか、4月からの新規スクールバスの運行開始などもあり、旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。

一方、営業費用は、燃料費高騰などの影響もあり増加いたしました。

この結果、営業収益は158百万円（前年同期比29.6%増）、営業損失は43百万円（前年同期は72百万円の営業損失）となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、卸売・小売業ではコンビニエンスストアなどの売上が堅調に推移したほか、建設業では、工事の受託が増加いたしました。

この結果、営業収益は715百万円（前年同期比15.8%増）、営業損失は29百万円（前年同期は79百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ783百万円減少し22,919百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ619百万円減少し1,885百万円、固定資産は164百万円減少し21,034百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、その他に含まれる補助金等の未収金が減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ473百万円減少し13,195百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ787百万円減少し3,517百万円、固定負債は313百万円増加し9,677百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、その他に含まれる設備投資未払金が減少したことによるものです。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ309百万円減少し9,724百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年11月11日に公表した業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日（2023年2月10日）別途公表の「繰延税金資産の取崩し及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,342	981,693
受取手形、売掛金及び契約資産	254,298	431,018
分譲土地建物	96,178	94,860
商品及び製品	28,279	34,689
原材料及び貯蔵品	146,660	144,022
その他	1,233,829	202,856
貸倒引当金	△4,183	△4,131
流動資産合計	2,504,406	1,885,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,201,514	14,216,773
減価償却累計額	△10,018,999	△10,090,880
建物及び構築物 (純額)	4,182,514	4,125,892
機械装置及び運搬具	5,144,445	5,197,475
減価償却累計額	△4,503,978	△4,610,534
機械装置及び運搬具 (純額)	640,466	586,940
土地	15,474,880	15,474,880
その他	1,004,379	1,058,084
減価償却累計額	△648,032	△744,493
その他 (純額)	356,347	313,591
有形固定資産合計	20,654,208	20,501,304
無形固定資産	67,398	125,309
投資その他の資産		
投資有価証券	349,290	358,269
繰延税金資産	97,223	8,368
その他	52,688	63,299
貸倒引当金	△22,054	△21,993
投資その他の資産合計	477,148	407,943
固定資産合計	21,198,755	21,034,557
資産合計	23,703,161	22,919,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,636	143,262
短期借入金	905,000	905,000
1年内返済予定の長期借入金	1,205,635	1,254,034
未払法人税等	6,591	16,993
未払消費税等	18,711	173,378
契約負債	86,863	90,994
賞与引当金	161,019	94,673
資産撤去引当金	286,885	286,885
その他	1,349,307	552,728
流動負債合計	4,305,650	3,517,950
固定負債		
長期借入金	3,355,609	3,593,819
繰延税金負債	2,011	76,118
再評価に係る繰延税金負債	4,424,078	4,424,078
退職給付に係る負債	1,358,968	1,363,907
特別修繕引当金	31,500	50,400
長期預り金	81,177	86,133
その他	110,179	83,032
固定負債合計	9,363,524	9,677,490
負債合計	13,669,175	13,195,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	19,014	19,014
利益剰余金	△590,981	△909,895
自己株式	△31,698	△32,034
株主資本合計	146,334	△172,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,484	199,758
土地再評価差額金	9,693,861	9,693,861
退職給付に係る調整累計額	△9,807	△7,671
その他の包括利益累計額合計	9,876,538	9,885,948
非支配株主持分	11,113	11,094
純資産合計	10,033,986	9,724,126
負債純資産合計	23,703,161	22,919,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	3,326,266	3,574,857
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,505,359	2,755,596
販売費及び一般管理費	965,159	1,014,008
営業費合計	3,470,518	3,769,604
営業損失(△)	△144,252	△194,746
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	13,900	28,098
土地物件貸付料	14,210	13,472
助成金収入	75,911	38,613
その他	4,070	3,745
営業外収益合計	108,099	83,937
営業外費用		
支払利息	19,888	23,108
減価償却費	10,110	10,110
その他	1,293	904
営業外費用合計	31,292	34,123
経常損失(△)	△67,445	△144,932
特別利益		
固定資産売却益	59	—
工事負担金等受入額	80,472	—
補助金受入額	220,250	9,914
特別利益合計	300,781	9,914
特別損失		
固定資産圧縮損	300,722	9,764
固定資産除却及び撤去費	2,105	—
特別損失合計	302,828	9,764
税金等調整前四半期純損失(△)	△69,491	△144,782
法人税、住民税及び事業税	13,476	12,893
法人税等還付税額	△21,512	—
法人税等調整額	59,728	161,259
法人税等合計	51,692	174,153
四半期純損失(△)	△121,183	△318,935
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△408	△21
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△120,774	△318,914

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△121,183	△318,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,739	7,276
退職給付に係る調整額	△3,519	2,135
その他の包括利益合計	△69,259	9,411
四半期包括利益	△190,442	△309,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,003	△309,504
非支配株主に係る四半期包括利益	△439	△19

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客への 営業収益	2,259,538	242,143	291,203	122,242	2,915,127	411,138	3,326,266	—	3,326,266
セグメント 間の内部営 業収益又は 振替高	9,086	11,269	491	86	20,933	207,109	228,042	△228,042	—
計	2,268,624	253,412	291,695	122,328	2,936,061	618,247	3,554,308	△228,042	3,326,266
セグメント 利益又は損 失 (△)	△119,440	129,946	△13,483	△72,652	△75,631	△79,202	△154,834	10,581	△144,252

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額10,581千円には、固定資産未実現損益の消去額2,462千円、セグメント間取引消去8,119千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	2,356,809	253,984	315,332	158,309	3,084,436	490,421	3,574,857	—	3,574,857
セグメント間の内部営業収益又は振替高	10,772	11,288	624	182	22,867	225,276	248,143	△248,143	—
計	2,367,581	265,273	315,957	158,491	3,107,303	715,697	3,823,001	△248,143	3,574,857
セグメント利益又は損失(△)	△233,958	120,730	△13,787	△43,821	△170,837	△29,147	△199,984	5,237	△194,746

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額5,237千円には、固定資産未実現損益の消去額2,988千円、セグメント間取引消去2,249千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	3,322	3,235	2.7
	定期外	〃	1,938	1,428	35.7
	計	〃	5,261	4,663	12.8
貨物トン数		千トン	1,324	1,424	△7.1
旅客収入	定期	百万円	473	461	2.6
	定期外	〃	762	605	25.9
	計	〃	1,236	1,067	15.8
貨物収入		〃	940	1,011	△7.1